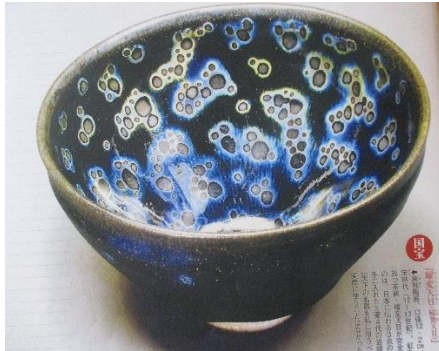


三菱創業 150 年 三菱の至宝展

三菱一号館美術館(丸の内)

2021.06.30~09.12

明治初期に誕生し、日本経済の発展を支えてきた「三菱」は、創業者の「岩崎彌太郎」以来、これまで4代に亘って芸術と学問の振興に貢献し、美術品や古典籍を数多く収集してきた。これらのコレクションは、日本の文化を守るという意識で築かれたもので、国宝や重要文化財に指定された優品が多い。



ようへんてんもく
《曜変天目(稻葉天目)》^{せゆう}施釉陶器 口径 12.2cm 中国・南宋時代 12~13 世紀
紅色の光彩を放つ茶碗で、曜変天目が完全な形で日本に残るのは3点のみ。

しんせいのまき
《平治物語絵巻・信西巻》 紙本着色 鎌倉時代(13世紀)

武家が台頭した平安末期に勃発した平治の乱を題材にした合戦絵巻で、争乱に関わった人々が細やかにかつ躍動的に表現されている。



いんだら
因陀羅筆
そせきぼんき
《楚石梵琦題『禅機図断簡 智常禅師図』》^{ちじょうぜんしず}紙本墨画 中国元時代

代(14世紀)、樹下に座して人を諭しているのが、唐の高僧・智常禅師で、その様子を元代画僧が描いた絵に、同時代の高僧が題誌を付けた墨跡の名品。

《毛誌》 紙本墨書 中国唐時代(7~8世紀)孔子の中国最古の詩集。